



平成 30 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 不二精機株式会社
代表者名 代表取締役社長 伊井 剛
(JASDAQ コード番号 6400)
問合せ先 専務取締役 山本幸司
(TEL. 06 - 7166 - 6822)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 30 年 2 月 14 日付で公表いたしました平成 30 年 12 月期の連結通期業績予想（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日）の修正についてお知らせいたします。

記

平成 30 年 12 月期連結通期業績予想の修正

（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	6,059	349	275	233	30.74
今回修正予想 (B)	6,189	411	276	196	25.67
増 減 額 (B-A)	130	62	1	△37	—
増 減 率 (%)	2.1	17.8	0.4	△15.9	—
(ご参考)					
前 期 実 績 (C) (平成 29 年 12 月期)	5,267	323	141	121	16.05
増 減 額 (B-C)	922	88	135	75	—
増 減 率 (%)	17.5	27.2	95.7	62.0	—

<修正理由>

売上高については、精密成形品事業セグメントで自動車関連部品の受注が好調に推移したことなどで前回予想を上回り、精密金型事業セグメントでも医療機器用精密金型の受注が高い水準で推移したことなどにより、前回予想を上回る見込みであります。

営業利益については、精密成形品事業セグメントでディスクケース製品の材料費増による減益要因がありましたが、精密金型事業セグメントでの稼働率の向上による原価率の低減などにより、前回予想を上回る見込みであります。

経常利益については、子会社の決算処理でインドネシアルピア、タイパーツの通貨安により外貨建て債務の評価替えによって、営業外費用に約 55 百万円の為替評価損が発生する見込みであることなどで、前回予想並みとなる見込みであります。

親会社株主に帰属する当期純利益については、精密成形品事業セグメントで顧客の生産計画終了分の自動車関連部品用の金型の廃棄を実施すること、およびグループ各社で生産性向上・品質向上を目的とした製造設備更新を進め、旧設備の売却と廃棄処理費用を特別損失に計上することを見込んでいることなどにより、前回予想を下回る見込みであります。

前期実績との比較では、精密金型事業セグメントの受注増による大幅な増収を見込み、前期に締結したシンジケートローン契約による資金調達の安定化および資金調達コストの低減効果などがあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも増益となる見込みであります。

以 上

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は業況の変化などにより、上記予想数値と異なる場合があります。